

四條畷市総合教育会議（令和4年度第1回）

会議録

四 條 畷 市

1 令和5年2月8日 午前11時 四條畷市役所東別館201会議室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東	修平
教	育	長	植田 篤司
教育長職務代理者		山本	博資
教	育	委員	佃 千春
教	育	委員	河田 文
教	育	委員	尾崎 靖二

3 事務局出席者

理事兼総務部長	西口	文敏
総合政策部長	西尾	佳岐
教育部長	阪本	武郎
総合政策部次長	木下	順代
兼秘書施策課長		
教育部次長	花岡	純
兼学校教育課長		
教育部副参事	賀藤	久道
兼学校給食センター所長		
施設再編課長	北田	真一
教育総務課長	板谷	ひと美
学校教育課指導担当課長	広谷	光輝
兼教育支援センター長		
青少年育成課長	勝村	隆彦
スポーツ・文化財振興課長	神本	かおり
教育部上席主幹 (スポーツ・文化財振興担当)	村上	始
文化・公民館振興課長	安田	美有希
兼公民館館長		
図書館長	田中	学
施設再編課長代理兼主任	古市	靖之
教育総務課主任	木邨	勇貴
秘書政策課長代理兼主任	松木田	智美

4 会議録作成者

秘書政策課長代理兼主任	松木田	智美
-------------	-----	----

5 案件

- (1) 四條畷市個別施設計画【公共施設】(令和5年4月改訂版)(原案)について
- (2) その他

<p>総合政策部長</p>	<p>それでは定刻になりましたので、令和4年度第1回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日の案件につきましては、次第に記載しておりますとおり、「四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和5年4月改訂版）（原案）」について、市長と教育委員会で報告や意見交換を行うため、お集りいただきました。</p> <p>本日も円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご発言の際はマイクをお使いいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに市長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>改めまして、皆さまこんにちは。</p> <p>本日は公私何かとお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。マイクの都合上、着座にて挨拶させていただきます。</p> <p>皆さんもご承知のとおり、いわゆるコロナがまん延し始めて約3年が経過したという状況でございます。この間、感染拡大期が幾度となくございましたけれども、教育長をはじめ教育委員の皆さま、そして事務局の皆さまにおかれましては、児童生徒の学びの継続、そして感染予防、これらの両立を図りながら、教育活動を継続できるように日々きめ細やかな対応をいただいておりますこと、この場をお借りして心から感謝を申し上げたいと思います。いつもありがとうございます。</p> <p>前回、令和4年3月に実施させていただきました総合教育会議におきましては、「令和3年度における学校教育に関するご報告」、並びに「教育振興基本計画の策定」について意見交換をさせていただきました。</p> <p>本日の案件につきましては、「四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和5年4月改訂版）原案」についてでございます。</p> <p>皆さまもご承知のとおり、この個別施設計画におきまして、市庁舎や市民総合センターなどの15施設の再編整備の方向性につきましては、継続検討となっておりまして、昨年、一昨年度、またその前の年度からですね、公共施設再編検討会の方で市民の方の視点も取り入れて議論をしていただき、取りまとめたいただいた報告書を提出いただいたところでございます。</p> <p>また、本年度につきましても、議会において議決すべき計画に関する特別委員会を設置され、特別委員会において俯瞰的に長期的視野の中、議論を重ねてこられたところでございます。</p>

市長	<p>この度、これらの検討結果を踏まえまして、15施設の再編整備の方向性を示す令和5年4月改訂版原案を取りまとめましたので、後ほど担当部局から内容を説明させていただきますけれども、本日本においては、委員の皆さまと忌憚のない意見交換をさせていただきたいと思っております。以上、挨拶に代えさせていただきます。</p>
総合政策部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事の方を進めてまいります。以降の会議の進行につきましては市長にお願いしたいと思います。市長、よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、お手元の次第に基づいて進めてまいります。</p> <p>まず、案件1「四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和5年4月改訂版）原案」について、担当部局から説明をお願いいたします。</p>
施設再編課長	<p>それでは、「四條畷市個別施設計画【公共施設】（令和5年4月改訂版）原案」の内容について、総務部施設再編課からご説明させていただきます。改訂事項の概要説明にあたりまして、参考資料①をもとにご説明させていただきます。</p> <p>それでは、参考資料①の表紙の裏面をご覧ください。ページの下部に注記の囲みを記載しております。令和5年4月改訂版は第7章の整備方針等に係る記載の一部を改定するもので、計画書全編を通した整合性等を図る改定については、令和5年4月改訂版策定後に行う旨の注記を記載しております。</p> <p>次に、33ページをご覧ください。市民総合センターの①施設概要につきましては、時点修正に係る所要の改定を行っております。</p> <p>②整備方針をご覧ください。今後の方向性につきましては、当該敷地は西部地域の中央部に位置し、一定の面積を有していることから、資産の質と量の最適化を図るため、当該敷地に公共施設機能を集積させ、中核的施設を整備すると記載しております。当該敷地に市民総合センター、教育文化センター、市民活動センター、老人福祉センター楠風荘、保健センター、四條畷市シルバー人材センター、福祉コミュニティーセンター、市庁舎の計八つの施設機能を集積させ、新たな複合施設を整備しようとするものでございます。この複合施設については、本市がこれまでに整備してきた施設の規模や施設機能とは一線を画すものとなることから、この象徴的内容を中核的施設と表現しております。</p>

施設再編課長

また、当該敷地の再編整備に当たっては、敷地面積を確保していく観点から、隣接する保健センター用地等との一体利用についても記載しております。このほか、中核的施設の整備に係る検討を進めていくに当たり、今後、整備費用の積算や財源措置、用地規制の緩和に係る様々な整理事項があることから、支障が生じた場合の対応策に関する一文も追記しております。次に、配置の考え方でございますが、前段の方向性を踏まえ、現敷地を基本とすると記載してございます。次に、注釈といたしまして、ページの右下に※印を記載しており、当該ページ内の改定箇所をお示しております。

次に、34ページ、教育文化センターをご覧ください。①施設概要については、先ほどと同様の内容で改正しておりますので、これ以降の①の説明は割愛させていただきます。次に、②整備方針の配置の考え方につきましては、市民総合センター用地に配置する内容に改定しております。

次に、35ページ、歴史民俗資料館をご覧ください。歴史民俗資料館については、現在配置で維持していく方向性を示すべく、②の整備方針を改定しております。なお、③の更新等の時期については、現在配置で維持していくことから、建築年度から機械的に算定した工事時期と工事内容を記載しております。

次に、38ページ、市民活動センターをご覧ください。②整備方針の方向性でございますが、文化財資料に係る収蔵等の保管場所については、他の公共施設の再編により生じた余剰施設等を活用していく旨を追記しております。次に、配置の考え方でございますが、体育館及び多目的室については、従前の記載事項を踏襲して、所要の字句整理を行ったものでございます。

以降のページにつきましては、市長部局が所管する施設であるため説明は省略させていただきますが、65ページの四條畷南中学校跡地については、跡地整備に係る具申をいただいていることから、今後の方向性をご説明いたします。

65ページの②整備方針、配置の考え方をご覧ください。従前の内容を踏襲いたしまして、体育館の新築整備を行うものでございますが、施設の整備に当たりましては、防災拠点機能をはじめ、他の施設機能の追加も視野に検討を進めていくこととし、この内容を多機能型体育館と表現させていただいております。以上が、改定内容の説明でございます。

続きまして、資料2「意見公募手続き実施概要」をご覧ください。

先ほどご説明いたしました「個別施設計画【公共施設】(令和5年4月改訂版)(原案)」について、令和5年2月15日の水曜日から3

<p>施設再編課長</p>	<p>月14日の火曜日までの間、市民意見公募手続きを実施したいと考えております。手続きの詳細につきましては、本資料に記載させていただきますので、内容のご確認をいただくとともに、ご検討をよろしくお願いいたします。資料説明は以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいま説明がありました内容につきまして、皆さまからご意見やご質問等をいただけたらと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>尾崎教育委員</p>	<p>個別施設計画の33ページのところですが、②整備方針の方向性の二つめの midpoint のところに、「当該敷地の再編整備にあたっては、保健センター用地等との一体利用を図る。」とございます。</p> <p>また、配置の考え方については、「現敷地を基本とする。」となっております。この現敷地というものに合わせて他の八つの施設について市民総合センターに配置するとなっております。</p> <p>これが意味するところが、受け取りようによっては二通りにも受け取れると思うんですが、現敷地を基本とすることを文言どおり受け取りますと、現在市民総合センターが建っている敷地に建物を建てるというふうにも、八つの施設をそこにもというふうにも受け取れますし、2点めの「当該敷地の再編整備にあたっては、一体利用を図る。」と書いてありますが、それは敷地だけの問題ではなく、建物も含んでいるのかというふうにも受け取れるんですが、原案の中に含み込んだ意味として何かあるんでしょうか。それとも、両方受け取っていいんだよというスタンスでしょうか。まず質問です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>この原案の方向性の部分につきましては、方向性という文言が示すとおり、まずは大きな考え方を示させていただいているのかなと思います。</p> <p>今、委員が触れていただきましたように、市民総合センターが現在立地しているところには、保健センターであったり、あるいは商工会さんの建物等様々ございます。</p> <p>そうした中、様々な機能を集約させていくという方向性においては、一定の用地の面積等は必要になってきますから、面積を確保していくという意味でも、なるべく市民総合センターの今あるところは基本としつつも、保健センターであったり、商工会さんのある土地とかも含めて一体的に集約化をしていくというような内容での記</p>

<p>市長</p>	<p>載とはなっております。</p> <p>ただし同時にですね、これだけの施設が一気に集積されるとなると、そこに至る道路の接続はどうしていくのだろうかとか、いわゆる都市計画上の様々な規制であったり、日照の問題はどうなのかなど、いろいろと付随した課題が出てまいります。</p> <p>そういう意味では、果たして現行のその公有地だけで可能なのか、更に大きな枠組みを捉えて集積していかないといけないのか、現段階では、なかなか明快にお示しできる段階にはないので、住民の方々も含めて具体的な検討をする際に、一つ一つ課題の解消に向けて取り組んでいきたいと考えております。以上です。</p>
<p>尾崎教育委員</p>	<p>ありがとうございます。将来的に様々な可能性を残す形での方向性ということで理解ができました。</p> <p>取りようによってはということ、これはそうじゃないんだということは市長からお示しいただいたんですが、現敷地の中に一つの建物を建てるという可能性もございます。これはコストの面とか機能の面とか、いろいろと考えられた優れた考え方であるとは思いますが、ワークショップや検討会で市民の方々から様々な意見が出ましたけれども、ワークショップでも共通しますのは、複合するということには賛成、しかし地域の中で分散化する、というのが共通する意見です。検討会では、三つに大きく機能分散してというような意見も出ておりましたので、その辺のところも含めて、今後精査をされる時にはそういった方向性との意見、今考えられている内容はコスト面や機能面について非常によく考えられていると評価いたします。同時に他の視点ですね。後ほど申し上げたいと思いますが、教育委員会としては、教育的な配慮のもとでの配置というものがどうあるべきか、そういった様々な視点を精査していただきたいと。今後進めるこの大きな方向性の中でですね、是非そういったことに目を向けていただけたらと要望させていただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>まさに今、お示しいただきましたとおり、教育委員会の皆さまから教育的な配慮という意味でどのようなあり方がいいのかというご意見やご提言をいただけることは、大変貴重であると思っております。</p> <p>その上で、機能分散というお話もいただきましたけれども、やはり公共施設の再編を考えていく中で、一定集約をしていくという考えは総論として、方向性として、持っております。</p>

<p>市長</p>	<p>しかしながら、どの機能がどの場所に配置されているのかがいいのかについては、今お示しいただいたように多角的な分析や検討が必要であるかなと思っております。</p> <p>現時点で四條畷市におきましては、西部地域が比較的居住面積があまり大きくないというような観点から、一定程度1か所に機能を集約させていってもアクセスが一定できるという考え方のもと、今回の原案としておりますけれども、今後、住民の皆さま、施設の利用者、あるいは利用されていないけれども新しい施設を利用される方々など、皆さまのご意見を踏まえながら、多角的な検討は絶えず重ねてまいりたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>今、市長がご説明されましたように、今回このような形で集約することについては、コスト面以外にも市民の利便性とかを考えるとメリットがあるというふうには思います。そういう意味では、よく考えられている案かなと思っております。</p> <p>一方、こういうことをすると市民の期待としては、現状よりは良くなっているんだというように、今までよりは良くなったと思うようにしなければならないと考えています。そうすると、8施設を一括にもってくることによって、おそらく現状より後退が見込まれるような施設とか、具体的な活動内容というのがあるのではないかなと考えています。</p> <p>そのあたり、デメリットになるかもわかりませんが、住みやすい市にしていくために、もしかしたら後退するかもわからないなということの検討はどのようにされてきたのか。あるいはこれからどのようにされようとしているのかについて教えてください。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>お示しのとおり、これまでも令和元年度に個別施設計画を策定して以来、検討会の皆さまにも多角的な観点からご議論いただきました。その時にも様々なご意見をいただきました。</p> <p>このような再編の案といいますのは、先ほど尾崎委員からもありましたけれども、総論的にはこうしていった方がいいという中で、各論に入っていった場合に具体的に検討していくと、やはりこの側面では少しデメリットになってしまうようなことも生じると。具体的に検討に入ると、職務代理がおっしゃっていただいたような懸念点が必ず生じてくるかと思っております。</p> <p>再編に関しては、100点満点の配置というのはなかなか難しいと思っております。そうした中でも、実際に公共施設を必要とさ</p>

<p>市長</p>	<p>れる方々にとって、現状利用されている状況からいかに持続可能な形で継続して使っていけるようになるのか、デメリットの部分だけを和らげることができるのか、これは今後、一步ずつ前に進めていく段階で住民の皆さんの意見をきっちりと聞いていきながら、また法律等の規制等もごさいますので、それをしっかりと検討した上で、具体的に出てくるデメリットを緩和していくと、このような手続きをこれからはとっていくと。</p> <p>ですので、この原案策定の段階におきましては、一定方向性ですので、今お示しいただいたデメリット全てを網羅的に検討され尽くしたかと言われますと、まだできていないというのが正直なところであり、具体的に進める際に一つずつ改善していけたらと思っている状況でございます。ありがとうございます。</p>
<p>佃教育委員</p>	<p>今も市長がいろいろとおっしゃっていただきましたけれども、ここに至るまで令和元年度から市民の方々が多角的に参画されて、また有識者の方もそこに加わられて、いろいろとこれについては夢も語ってこられたと思うんです。こんな施設だったらいいなとか、こういう住み方ができたらいいなとか。そういうことに多くの方々、そして議員さんが新たな一つの案をまとめられたということは、本当に素晴らしいことですし、尊重したいなと思います。</p> <p>しかしながら、案として出されたものを拝見した際に思うところがいくつかありました。</p> <p>その大きな一つが、やはり市庁舎というものと、それから私たちは教育委員でありますので、教育的観点から見た教育的施設というものと、さらに福祉的な分野から見た福祉の施設等が一体化として一つのところにあるという景色を考えたときに、少し違和感があるというか、特に私たちは教育委員ですから、教育委員としては、例えば市民ホールであったりとか、図書館であったりとか、それから子どもたちの子育ての施設であったりとかそういうところに市民が集う時の気持ちを考えたら、やはり落ち着きであったり、静けさであったり、心の豊かさであったり、そういうことを少し求めて参画する分野と、私たちが市庁舎に行くときというのは、1分でもいいから早く仕事を済ませて手続きを終わらせて帰りたいとか、納税の義務を果たすためとか、全くその役割も違う場所がそこに一緒になっていくっていうことになるんですね。</p> <p>さらに、若い方からお年寄りの方まで色々な思いでそこに集う人たちの景色を考えると、近くでいろいろと分散した施設でとお考えかもしれませんが、果たしてそういうことが市民にとって本当に豊</p>

<p>佃教育委員</p>	<p>かな四條畷市の公共施設と言えるかどうかということについては、もっと考えられないかなと思ったり、何よりも私は、教育の施設というものはトータルで文化を醸成する場と考えておりますので、そこは尊重していただけないかなと思うところです。</p> <p>更に申し上げますと、仕事柄で恐縮なんですけれども、私は府内の全ての市庁舎にお邪魔して営業活動する仕事ですから、今年度になりましても、和泉市、貝塚市、能勢町が新たな市庁舎をオープンされまして、それはもう見事な市庁舎になっております。それぞれお伺いしますと、コンセプトがはっきりしていて、例えば和泉市だったら安心・安全・利便性なんですということであったり、貝塚市でしたら市民が交流できる場であるとか、能勢町は防災の拠点としてということで、機能もコンセプトもしっかりと打ち立てて、そこに至るまでいろんな市民、住民との協議の上でできているものだとお聞きしました。そうなりますと、そこに集う人たちや、そこで働く人たちの表情が本当にいきいきと輝き、素敵だなと思わせていただけるような部分もあり、ただ新しくなったからじゃなくて、それに付随するところもすごくよく回るようになっていっているなということを、市民ではありませんが、外部者としても感じる事ができたので、市長が常々おっしゃっている、住んでみたいと思ってもらえるまちとか、住んでいる人たちがこのまちに誇りを持てるようなまちと考えるのでしたら、市長はどのようにコンセプトとしてもっていられるのかについて、教えていただけたらと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。様々ご意見をいただきました。</p> <p>一番最後にご質問いただきましたコンセプトについてですが、基本的な考えにはなろうかと思えますけれども、この「個別施設計画」の13ページになりますが、基本方針という形で大きく三つを掲げております。</p> <p>この方針については、策定以降この考え方を基本的に持っており、「個別施設計画」のもう一つ上の上位計画でもあります「総合管理計画」を策定したときからこの考えを基本的に持っております。</p> <p>一つめが「世代間のコミュニティが繋がる魅力あるまちづくり」、二つめが「災害に強い住みよいまちづくり」、三つめが「次世代に負担を先送りしない自立的なまちづくり」。これらが基本的な考えになっております。</p> <p>三つめは言わずもがな、人口動態であったりコスト面を主に意識しているところなんですけれども、四條畷市のコンパクトさを考えますと、様々な世代の方々や小さいお子さんから高齢者の皆さんまでが</p>

<p>市長</p>	<p>集えるコミュニティが、顔の見える関係がつながっていけるような、そんな再編にしていきたいと思います。</p> <p>同時に、歴史あるまちであるがゆえに道路等が狭いというような状況が散見される西部地域ですので、一定こういう再編の際に遊休地を流用していきながら、生活のしやすい、また防災機能の強化という意味でもですね、都市基盤を形成していきたいなと思っている最中です。</p> <p>そうした中、最初の方でご発言いただきました、一斉に施設を集約した場合、利用される方々の背景事情が異なることから、急いでおられる方やゆっくりと過ごされたい方が同時に集うことが懸念点として挙げられる、とおっしゃっていただきましたが、私もそのような側面はあると思います。</p> <p>その側面と同時に、1か所に集約されたことによって、例えば市役所の手続きに行った際に音楽のコンサートがやっているの、これまで行ったことがないけれども足を運んでみようかなとか、そのような気づきの場になるというメリットもあろうかと思っております。</p> <p>ただし、今後考えていく上では、全てが1か所だから利便性につながるとは我々も思っておりませんので、どのように区画やゾーンを分けていくのか、そのゾーン分けがこの物理的制約のある面積の中で現実的に可能なのか、可能としてもそれが住民の皆さんが思う形に本当になっているのか。最終的には、主権者である市民の皆さんが望む形にまちづくりをしていくことが我々の最大の責務でありますので、先ほどからお答えしている内容にもつながりますが、この基本方針を持ちながら、住民の皆さんと具体的に意見交換をしていく中で、佃委員がおっしゃっていただいたような懸念点が解消されるように、また利便性の部分はもっと活きるようなものを考えていきたいと思っております。</p>
<p>河田教育委員</p>	<p>一つの建物に複数の施設を集約するというような形で話が進んでいるのだと思いますが、その場合にはコスト面では非常にメリットがあると思います。また、施設が集約され、1か所で幾つかの用事を済ませることができるということは、利便性が高いのではないかなと思います。</p> <p>ただその一方で、これら今挙げられている施設で、複数の施設へ一度に利用のある方がどのくらいいらっしゃるのかなといったような疑問もあります。私は田原に住んでいますので、総合センターなり市役所なりに来るときには、やはり車がどうしても必要になって</p>

河田教育委員	<p>くるので、1か所に施設が集中したときには施設利用者も集中するわけですので、そういった場合の駐車場の確保っていうのは可能なかどうか。また、保健センターも老人福祉センターも一緒になるということで、休日診療などで体調が悪い方が利用される保健センターと、ご高齢の方が利用される老人福祉センターが同じ建物内にあることについては、安全なのだろうかといった気がかりな点もあります。</p> <p>現時点では、どのような建物になって、それぞれの施設がどのような配置になるのかまではわかりませんが、1か所に集約する場合でも分散される場合でも、メリットがあればデメリットもあると思いますので、メリットの部分だけではなくてデメリットの部分もしっかりと挙げていただいて、そこをどう解消していくのかを示していただき、利用される方が安全に不便を感じずに利用できる施設を作っていただきたいというふうに思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>まさに今、お示しいただきましたとおり、いわゆる車で移動される方の駐車場をどれだけ確保していくかということは、非常に大きな論点の一つかなと思います。</p> <p>現在もワクチン接種等の関係がございまして、市民総合センターには多大なるご負担やご理解をいただいているところであり、これは本当に感謝をしているところでございます。</p> <p>しかしながら、イベント等が重なると駐車場が今の段階でも厳しくなる時が往々にしてありますので、そうした中、これだけの機能が集積していった場合に、果たして本当に利用したい時に車を停めることができるのかについては懸念があらうかと。まさにご指摘のとおりであり、我々としては、まだ確実にこれが答えだということを引き出せていない、今の段階ではデメリットと言わざるを得ないところかなと思っています。</p> <p>そうした場合に、やり方として地下というものを検討するのか、それはコスト面ではどうなのか、議論の論点があらうかと思うと同時に、20年、30年、40年という未来を見据えて、超少子高齢化社会となったときには、おそらく公共交通のあり方が今とは更に変わってきている時代にもなるかと思っています。</p> <p>温暖化の問題等もありますので、一人1台、一家に複数台を持つという状況から、たとえ田原の地域であったとしても、なるべく公共交通の利便性を上げていくと。とりわけ西部地域においては、車でというよりは、なるべく歩いていろんなところに行けるまちづく</p>

<p>市長</p>	<p>りというものが、おそらくまちづくりの今後の未来になるかと。</p> <p>そういう意味では、歩いて行けるまちづくりというものを考えた場合ですと、公園なり図書館なりというのは、分散的に配置されている方が近くのところでは憩いの場所があるというようなメリットもあろうかと思えます。</p> <p>これから検討していくべき課題はおっしゃるとおり様々であり、今の原案にもメリットもたくさんございます。その上で、今いただいたような、今私が少し触れさせていただいたような懸念点を住民の皆さんとともに考えていくと。今この原案を基に確実に前に進めていきますけれども、固執するわけではなくて、あくまで住民の皆さんの声を受け止めながら柔軟に解釈し、再編に取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>尾崎教育委員</p>	<p>今、歩いて行けるまちづくりと市長がおっしゃったので、教育委員として提案させていただきたいのですが、この計画に対して、現状、案そのものにどうこうということではなくて、ちょっと迷惑かもしれませんが、今のような形で進めるとこんなことが可能ではないですか、という提案をさせていただきたいと思えます。</p> <p>先ほどの公園についても、子どもたちのために近いところで整備をしていこうと市長がおっしゃいました。大賛成です。子どもたちのために必要なことだと思います。</p> <p>また、図書館ということをおっしゃっていただきました。これも私がかねがね思っていたことで大賛成です。文化的な発想ということ言えば、そこに子どもが集まり、親子が集まり、そして高齢者も集まるというみんなが集まる場所になるわけです。公園や図書館という施設が身近にあるということは、本当に文化的なよいまちのシンボルであろうかと思えます。</p> <p>勝手なことを考えたんですが、分散すると、まず市民総合センターに図書館があるということは大事なことだろうと思えます。自習室を充実するというのもとても大切なことだろうと思えます。同時にほかにもですね、市民活動センターということで体育館は残ります、ほかは大きな公園になり、ボール遊びもできる場所も素晴らしいです。</p> <p>ただしですね、多目的室がくすのき小学校の用地に移るということをお聞きしたので、それならば少し公園の面積は減りますけれども、市民活動センターに多目的室を設置してはどうかと。建物を建てるのですから、そこに図書館を同時に併設していただきたいと。</p> <p>図書館は子どもだけではないだろうと思うんですね。私もよく見</p>

<p>尾崎教育委員</p>	<p>まずけれども、高齢者の方がよく新聞をお読みになっていたり、夏には涼みどころになったりと、いろんな機能をもっているところですよ。それがちょうど国道170号の向こうにもある。南中に多機能型の体育館が予定されていますが、私は国道163号の南側に子ども図書館というものを限定してつくることができるのではないかと。そこには教育センター、教育相談を同時にする。不登校の子どもさんがそこに通ってらっしゃる。図書館と不登校の通所施設は非常に親和性がありまして、私自身も交野市ですが、教育センターで不登校の中学生に指導していたときに、図書館には行けるようになるので、図書館で本を借りてきてということも可能になります。そうすると3か所、そういうことができる場所。教育支援センターには相談室等もありますし、スクールカウンセラーであるとか、退職校長であるとかそのような方もいる。これは私の一つの考えですけれども、分散することによって非常に効果が上がる、あまりコストをかけずにいけるのではないかと。同時にその親和性の高いものを一つに複合化するという発想ですね、この発想でお考えいただいたら、とてもいいものになるのではないかと。全くコストを考えていない素人の発想ですけれども、今後精査されるときには、このような提案等についても市民の方からお受けいただいて、どのような公共施設とするのかということをお考えいただけたらということで、私の勝手な提案ということでご理解いただけたらと思います。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>令和元年度に策定をさせていただきました「個別施設計画」におきましては、忍ヶ丘駅と四条畷駅の近くに市が所有している土地がございます。こちらに関しては子どもであったり、あるいは社会教育に関連した機能をですね、まさに今、言及いただいた図書館なども最たる例かなと思いますけれども、やはり身近にそういった機能があるというのはコミュニティがつながる、あるいは文化的な機運が醸成されるという非常に大きいものかと思えます。</p> <p>ですので、この総合センターにおける基幹的な図書館というものは、もちろん市としては必要でしょうけれども、それ以外の部分で気軽に足を運べるようなという思いで、そのような機能がある方がいいのではないかとというのは、令和元年度の計画の時点からございます。</p> <p>そういう意味では、今回は市民総合センターのところに全てを集約、多くのものを集約させていくという方向性はありますものの、</p>

<p>市長</p>	<p>今、言及いただきました旧北出小につきましても、昨年の地域の皆さんとの対話会の中で、今後ここをどうしていくのかというたくさんの方の意見もございました。</p> <p>やはり歴史的経緯を踏まえますと、あそこは元々地域の皆さんが子どもたちの学校のためならということで土地をいただいた経緯もあります。そういう思いを汲めばですね、やはり地域の皆さんが望むものを整備していくということ、それは当然のことだろうと思っております、それが果たしてどういう機能がいいのか、公園だけではなくて、このような機能もあった方がいいよねといったことがあるのであれば、地域の皆さんとしっかりと話し合っていくながら、どういう機能を考えていくのかということは、今後しっかりと意見交換をしていきたいと思っております。</p> <p>触れていただきましたくすのき小学校の件ですけれども、統廃合については、平成30年度に市立学校に関する条例で提案させていただいた後ですね、一定、今はどこかを統廃合するというのは現状ないと私は理解しておりますけれども、財政が苦しい状況が続いた中、市内の小中学校につきましても順次大規模改修をしていっているものの、まだ着手に至っていない学校もございます。</p> <p>その上で、教育委員の皆さんもよくご存じかと思いますが、くすのき小学校についてもやはり老朽化といいますか、統合した際に外装等はやっておりますけれども、やはり内部等の傷みというものがきているという状況かと思っております。</p> <p>そういう意味では、今後20年、30年、40年後の未来を考えていった場合に、旧北出小学校の機能、そしてくすのき小学校の機能、これらをどうしていった方がいいのかについては、教育委員会の皆さんにもご議論いただきたい点として、奇しくも尾崎教育委員が触れていただきましたように、外環状線を挟んで西側の地域の皆さんは地域的一体感というものがございますから、そういった背景も踏まえて現状はこの案とさせていただいておりますけれども、これらの両敷地エリアをどのように活用していくことがいいのか、今後地域の皆さんと話し合っていく中、また、くすのき小学校の今後を考えていく上で、是非こうしていった方がいいのではないかなというようにご意見をいただければと思っております。</p> <p>新たに設立された小学校等をみておりますと、いわゆる体育館等を地域の方に開放される時において、安全性とかを踏まえて導線を切り離して整備をされていると。なるべく子どもと導線が交わらないように配慮された改修をされているような例も見受けられますので、その点については教育委員さんの中でも種々ご議論いただきました</p>
-----------	--

<p>市長</p>	<p>いなと思っているような状況です。</p> <p>次に、南中跡地で触れていただきました子ども図書館というアイデアもすごく夢のある話を頂いたなと思います。エリア的には学校が無い状況の中で、お子さんが集えるような場所ということは地域の皆さんも望まれることではないかなと思います。</p> <p>そして、触れていただきました教育支援センターですが、不登校の方々が実際増えているのは事実でございます、このあたりを社会的にどのように対応していくのかというところは、まさにご知見をいただきたいと思っております。</p> <p>利便性やコストでは測れない最も大事な部分を担っていただいている機能でもございます。そういう意味においては、今後の再編整備を進めていく中で、是非、教育的観点から強いご提言・ご意見をいただくとともに、市長部局も一緒に考えていけたらと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>何点かあるんですけども、今、市長がおっしゃいました市民活動センターのことですけれども、現在の敷地の状態でくすのき小学校の空き教室に地域の施設を持っていくことについては、いろいろと問題があるかなと思います。</p> <p>今、子どもたちの安全安心や危機管理ということが問われていますので、地域とは言いながらいろんな方が校舎の中に入って来れることについては、現状の学校自身がそういうことを想定して作られておりませんので、やはり問題かなと思っています。</p> <p>先日行きました守口の学校や教育委員会の視察で行かせていただいた他市の学校においては、グラウンドから直接入ることができる、あるいは校舎とその施設の間に完全に鍵がかかって校舎の中に入って来れないような施設を作っている学校が結構ありますので、そのようなことが可能になればいけるのかなと思いますけれども、現状ではしんどいかなと考えています。</p> <p>グラウンドに新施設を建設するという考えもあるようですけれども、それをするのであれば、現在の市民活動センターの多機能体育館のところに同じような施設を作っていただく方が、より効率的ではないかなと思っています。</p> <p>それから、南中学校跡地の話について私が考えるところがあるんですけども、これは個別施設計画の中に学校跡地におけるにぎわいを創出するという形で公園整備が書かれていますけれども、東小と南中の再編の時の地域への約束として、にぎわいはもちろんそうですけれども、防災施設のあるコミュニティ施設等の設置が地域と</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>の約束だったというふうに私は考えています。</p> <p>そういう意味で言うと、体育館の中に多機能室を作るという形になっていますけれども、それでは非常に不十分だなと思っています。170号線から西側の地域は、市民活動生活センターの中でそういうコミュニティを作るとは可能かと思えますけれども、東小や南中の校区にはそういうものは全くない。市民活動センター、あるいは新しくできる総合センターに行けばいいのではないかという考えはありますけれども、これだけの機能が統合されると、実際に会議室一つ使うにしても時間帯が重なりますので、東小及び南中校区の方々にとっては使用上のハードルが高いのではないかなと考えます。そういう意味で言うと、体育館や公園だけではなく、あそここのところに何らかの文化活動や、あるいは会議等の地域活動が可能になるような施設の併設を考えなくてはならないかなと思っています。少なくとも、現在の市民総合体育館のような施設というものが最低限必要ではないかなというのが私の考えです。</p> <p>もう一点、市民総合センターに戻りますけれども、ここには福祉コミュニティーセンターが機能集約されることになっていますけれども、コミュニティーセンターにつきましてはですね、今議論になっているとは思いますが、教育支援センターの部分があります。適応指導教室、あるいは不登校の子どもたちは、逆に機能集約をされた利便性の高い施設には非常に行きづらい。あまり人が集まらないところ、自分たちだけがそこに集える場所ってというのはどうしても必要なのではないかなと考えています。</p> <p>そういう意味で言うと、機能性だけを考えるのではなく、たくさんの人たちが集まる場所には行きにくい市民の活動を保障するような施設というものが必要ではないかなと思います。</p> <p>市民総合センターの整備方針の方向性のところに「支障等が生じる場合は、その対応策を講じていく。」という一文があります。配置の考え方の中には「現敷地を基本とする。」となっていますので、コストの問題もあるかもわかりませんが、大きな場所で複合されたところの利便性だけでは活動しにくい市民の場所を別に作っていただくことが一番いいのではないかなと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。三つお話をいただきました。</p> <p>1点めの市民活動センターの件でございます。</p> <p>教育委員会におかれましても視察等にも行かれているということですが、皆さまもご存じのとおり、この20年程度はですね、四條畷市は非常に財政も苦しいところがございます、なかなか教育施設</p>

<p>市長</p>	<p>等に十分に予算を投じてくることができなかったことは事実としてあると思っております。</p> <p>一方で、一昨年度頃から教育委員の皆さまにもお伝えしておりますとおり、一定、四條畷市としては堅調な財政構造になってきておりますので、これからは必要などころにしっかりと投資をしていけるような歩みをしていきたいと思っております。</p> <p>ですので、今後、20年、30年、40年の半世紀の未来を見据えたときに、今後それぞれの小学校や中学校のあり方についてどういう投資をされていくのか、当時建てられたときには想定されていないこと、例えば一人1台のパソコンを持って授業をすることは全く想定されてなかったわけございまして、教育的観点、また児童生徒の安全的観点から大きく学校のあり方を変えて、魅力ある学校にしていくというような議論を今後していただくことも、今の財政状況であればいろいろと議論できることもあろうかと思っておりますので、是非、教育委員会の中でもそういった議論をしていただきたいなと思っております。</p> <p>2点めにいただきましたお言葉は非常に重く受け止めてございまして、私としても廃校とする条例を提案した者として、地域の皆さまとの約束は必ず守らないといけないものであると思っております。</p> <p>そうした中、この多機能型体育館というものが非常に多義的に読めるわけございまして、職務代理から地域の皆さまとお約束したものに対しては不十分じゃないかというお声がございました。</p> <p>そのご意見については、強くしっかりと受け止めさせていただいて、今後具体の検討をする際には、もちろん地域の皆さんに入っただいての整備を考えていきますので、地域の皆さんが納得していただけるような形で整備を進めていけたらと考えているところでございます。</p> <p>3点めの件ですけれども、まさに先ほどもご意見をいただきました教育支援センターの件でして、利便性が高く人が集まるということがいいというわけではない、まさにその最たる事例かなと思っております。</p> <p>言及いただきましたように、支障等が生じる場合、この文言がございまして、まさにそういうことを想定しているわけございまして、教育的観点からこの場合にはこのような支障が生じるのではないかということについて、本日の総合教育会議の場や、日頃の教育委員会定例会においても積極的に市長部局にもお伝えいただき、検討の際にはその観点をしっかりと踏まえていきたいと思っております。</p>
-----------	--

市長	<p>そういう意味でも、対応策や基本とするものは柔軟に考えていく姿勢があるということだと受け止めていただければと思います。ありがとうございます。</p>
佃教育委員	<p>私も1点だけお願いしたいといいますか、提案させていただきたいことがあります。</p> <p>南中学校の跡地のことですけれども、先ほど職務代理も市民との約束というお言葉を使っておられましたけれども、本当に南中学校を廃校する時の痛みというものが何に昇華されるのかということ、先ほどおっしゃった防災とにぎわいという言葉がキーワードとしてつながってくるのかなと思うんですけれども、多機能型体育館を建てればそれに応えられるのかといえばそういう問題ではなくて、どのようなものにするのかということについても、やはり地域住民、一番お使いになる方々の意見が一番大事だと思います。</p> <p>提案としては、思い切ってこの地域を防災のモデル地域ということで、それこそ国からでも府からでも補助をいただいても打ち立てていけるようなソフト面の動きを同時にされたらどうかなと思っています。一からその防災拠点を作ろうというときに、どういうことをして、どういう方々がリーダーとなって、また今ある組織をどう使っていくかということ、を市内も一体となって、住民啓発や住民の方々の自助共助という気持ちや姿勢も含めて、本当に範となるようなものを一緒に作りませんかというような動きがあれば、何か面白そうとか、できたものがやっぱりすばらしい建物であって、そこに防災と市民が集えるにぎわいというものがあれば、本当に誇らしい四條畷市としての施設にもなり得ると思いますので、住民が参画できる地域としての指定を先にして、何か考えることは無茶ですかね。できないですかね。</p>
市長	<p>貴重なご提言をいただいたかなと思います。</p> <p>当該地域の皆さまにおかれましては、子どもの通学の安全であったり、あるいは日頃からの地域活動、あるいは防災に対する意識、こういう面において非常に活発に熱心に活動されている方々が非常に多くおられる地域でもございます。そういう意味では、今後、跡地の整備をしていく上で、様々な前向きなご意見を頂く機会がたくさんあろうかと思っております。</p> <p>やはり四條畷市の特性上、西側はどうしても川がございますので、浸水等の可能性があり、山裾においてはどうしても土砂災害の可能性があり、これはもう宿命としてございます。当跡地については土</p>

<p>市長</p>	<p>砂災害警戒区域が2分の1程度あると、そのような状況も踏まえて、防災の範となるようなといったお言葉を頂きましたけれども、住んでいらっしゃる方々が一番安全性についての思いを持っておられると思いますので、そのような観点も含めてですね、この多機能型体育館というものにどういう思いを込めていくかということを行行政もしっかりと考えつつ、基本方針に防災に強いまちづくりを掲げておりますので、その基本方針を基に住民の皆さんとより良いアイデアにしていって、こういう整備をしてよかったなと思えるようなまちづくりをしていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>「教育大綱」の基本理念は「個性をみんなで活かすまち」、そして「教育振興基本計画」の基本理念は「みんなの学びが叶うまち」。この「みんな」というところが本市の一番のキーコンセプトだと思います。</p> <p>加えて、先般、マイクラフト大会の優勝チームの子どもたちから、たくさんの提言を頂きましたので、ちょうどこの機会にそれらを総合的に今後の計画に活かしていただきたいご提案として、三つの点にまとめて挙げさせていただきます。</p> <p>一つめは、ユニバーサルデザインです。皆さんもお気づきのとおり、今の各施設の廊下の幅はこれからの時代において十分でなく、電動車椅子等、自走式のものスムーズに使えるとは言えません。</p> <p>それからジェンダーですね。例えば、お手洗いはジェンダーフリーで作ることが必須でしょう。それから、認知ということでもまとめられると思うのですが、例えば子どもには理解が難しい表示・表現ではなく、ピクトグラムのような直観的に理解できるものならわかりやすいですね。こういったものを挙げておきます。</p> <p>二つめにフレキシビリティです。例えば、稼働間仕切り。そうするといわゆる教室や部屋の大きさ、広さ、部屋数等の制約を減らせるでしょう。それから、座席が自動的に収容されるような仕掛けとか、これは最初に作っておかないと難しいですね。また、夏場になると日除けが出てくるとか、このような柔軟性というものが、今後ソフト面での議論の中で出てくるのではないかなと思います。</p> <p>三つめがアクセシビリティ。これは施設へのアクセスのしやすさという交通面がまず考えられますが、もう一つは情報へのアクセスという面です。例えば、視覚障害をお持ちの方であれば、音声読み上げや拡大文字のサポート機能、聴覚障害をお持ちの方であれば、自動手話の仕組みでしょう。また、外国にルーツがある方へは、自動翻訳も視野に入ってくるでしょうし、それから更に言うならば、移動</p>

<p>教育長</p>	<p>が難しければ、デジタルツインという形でメタバース的なものも市役所の新しい機能としてできるかもしれません。これは、不登校の子どもたちへの対応にも考えられるということです。</p> <p>未来志向で考えた場合には、公共施設の配置や大きさもさることながら、このようなファクションの面での考え方というのでも活かしていただくと、先ほどの子どもたちがマイクラフトで表現していたものも含めて、具現化できるのではないかと考えます。以上、併せてお願いしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>青年会議所さんが実施されたマイクラフトを使って公共施設を表現しようという大変貴重な提言を頂いて、小学生がここまでまじのことを思っているのかと。災害が起きたときに食料に困らないようにどうやっていこうか、地下で食料を生産したらいいんじゃないかとか、本当に子どもならではの我々も気づけないような視点をたくさん頂いたと思います。</p> <p>今、挙げていただいたユニバーサルデザイン、フレキシビリティ、アクセシビリティというのは、まさに今最も必要とされる包摂の考え、ダイバーシティアンドインクルージョンの最たるものかなと思っています。</p> <p>フレキシビリティとのお言葉を頂きましたが、大体の建物というものは60年とか80年とか、公共施設であればなるべく堅牢なものにして作るという考えがあると思うんですけども、今から80年前っていつだったのかって考えますと、とてつもなく昔なわけです。まだ、第二次世界大戦の最中であつたと。</p> <p>今の我々が今から80年後に必要な施設や教育のあり方が予想できるかという、これはもう無理なわけです。そういう意味でいきますと、求められる機能や教育のあり方が将来変わったとしても適用できるような施設というものが、市民の皆さんからすると望ましいことでもあろうかと思っています。</p> <p>未来予知はできませんので、ユニバーサルデザイン、フレキシビリティ、アクセシビリティというものを、いかに未来を先読みした形で整備していくのか。行政としては様々な情報収集であつたり、先端のもの、これをしっかりと集約し、知見を集積していってですね、50年後、100年後の皆さんにとってこのような再編をしてくれてよかったなと思っていただけるように、教育委員の皆さんとも議論を交わしていきながら進めていけたらと思っています。</p> <p>ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。</p>

河田教育委員	<p>くすのき小学校用地に市民活動センターの多目的室を移す計画についてなんですが、私が一市民、一住民として感じていることなんですけれども、学校で困っていることがあったときに、やっぱり何かお手伝いしたいなっていうふうな気持ちがある保護者の方は割と多いんですが、それでも学校っていう存在が地域の中にもありながらも、どこか壁があるとか、そういうところからどう入っていったいかわからないっていうところもあると思うので、くすのき小学校に市民活動センターの多目的室を移すっていうことは、ある面で地域と学校をつなぐ役割を果たせるのではないかなということで、そういう視点から見ると、とてもいいなというふうには感じました。</p> <p>また、学校の先生や子どもたちと地域の方々が顔見知りになるということは、ある一定の防犯面でも効果があるのではないかなと思います。</p> <p>ただし、その実現には十分な安全対策が大前提にあると思いますが、これが実現できればもっと地域と学校がつながり、今のコミュニティスクールなどにもつながってくる良い計画ではないかと感じました。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の理解ですと、いわゆる地域に開かれた学校から、地域とともにというようなコンセプトに変わりつつあると理解をしております。そういう意味では、今、教育委員会として取り組まれているコミュニティスクールもまだまだ学校さんも地域の方々も手探りの中で、どのような形にしていこうかと悩まれているのかなと思います。そのような意味で、河田委員がおっしゃっていただいたことは、PTAを長くご経験されての貴重なご知見をいただいたのかなと思います。</p> <p>一方で、職務代理がおっしゃったように、安全性の確保、やはり予期できない事件というものは、これは可能な限り下げていかないとはいけませんので、十分な安全対策をとっておっしゃっていただいたこともしっかりと受け止めさせていただきながら、とりわけ外環より以西の地域にとってどういうやり方がいいのか、まだまだ決めつけてやっていくということではなくて、地域とともにある学校というところをどのように考えていくのかも含めて、今後しっかりと考えていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。</p>
山本教育長職務代	<p>今後の方向性について、お願いが2点ほどあります。</p>

理者	<p>1点めは、学校の整備計画に関することなんですけれども、確かに未来志向でやっていかなきゃならないと思うんですけれども、現実的には市内には50年を経過した学校があります。40年したら長寿命化、20年で中規模改修と言われてて、60年したら改築にというような形になっているかと思いますが、実際には改築に向かっていません。</p> <p>当初の案では、短期の前期において長寿命化をしていくという形にしていますので、実際には2025年から学校の工事をしていかなきゃならないという形の計画になっていますが、個別施設計画によって多くのところが2025年短期の後期から工事に入っていく形になっているかと思いますが、現実的に可能であるかどうかということについては、今は2023年ですから来年、再来年になりますので、非常に困難が多いかなと思うんですけれども、この個別施設計画の工事にかからないと、学校自身の整備ができないという形になりますので、そのあたり、安全で安心な学校環境をするために、改修工事、あるいは長寿命化工事の対策を是非お願いしたいなところが、今の計画からは離れますけれども、計画を読んでいく中でそう考えました。</p> <p>それからもう1点、私自身の認識では、現在の市庁舎、市民総合センター、それから南中跡地という三つのところで施設が集約されていくと理解していました。</p> <p>これは昨年の11月、12月段階でもそのようにしていましたので、今回、実は市民総合センターに集約されるという形になったときに、我々教育委員会としての考えや意見を検討し具申する場が全くありませんでした。</p> <p>これは特別委員会の決定が急であったということに原因があるかとも思うんですけれども、是非今後については何か変化があれば、情報共有を早急にしていただき、特に教育関係については我々の意見を聞いていただきたいなと思いますので、要望としてよろしく申し上げます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点めにつきましては、我々も大変懸念している点でございますが、今後同時多発的に様々な事業を進めていかなければならない中、主に都市整備部門等の人員も限られておりますので、全てが当然にできるかと言われたら、それは難しいです。</p> <p>ですので、きっちりと優先順位をつけて確実に実施をしていく順番を定めていかなければならないと思っております。</p>

<p>市長</p>	<p>一方で、学校施設の安全性を確保するというのも非常に優先順位が高いものですから、大規模改修なのか、改築をされるのかというところは、教育員会の中でご議論されることかと思えますけれども、現時点で本市におきましては、公共施設の整備基金も約30億円ぐらい積み上げている状況でありまして、余力としては過去に比べると大幅にある状況でございます。ですので、そういった状況の時にですね、教育委員会として一刻も早くこういう整備をしたいんだというところがありましたら、積極的にご提言をいただきたいなと思っております。</p> <p>2点めにつきましては、我々として申し開きもございませんでして、本来であれば、市長部局としてきめ細やかに総合教育会議等の場を通じて意見交換させていただく場を設けることができたらよかったんですけども、なかなか至らない点もあり申し訳ないと思っております。</p> <p>そうした反省も踏まえまして、今後は密に情報共有させていただきながら、教育委員会の皆さまが思う教育のあるべき姿を常に忌憚なく聞かせていただいて、様々な計画を進めていく際にですね、反映させていただければと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>様々な対象施設について、様々な角度からご意見をいただきました。</p> <p>総合教育会議は、まさに意見交換をしていくということが趣旨でございますから、その趣旨に叶う意見交換になったのではないかと思っております。</p> <p>ほかになれば次第1については終わらせていただき、次第2へと進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第2「その他」でございますけれども、何か事務局からありますか。</p>

総合政策部長	事務局からはありません。
市長	<p>全体を通じて委員の皆さんから何かご意見等はございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>少し1時間を超える形にはなりましたが、もしなければ、以上をもちまして、令和4年度第1回総合教育会議を閉会とさせていただきます。本日もありがとうございました。</p>